中部経済新聞　2007年3月27日（火）

ハナノキ 無洗米のネット通販好調

販売1位を19週獲得

サービスと高品質好評 月商500万円めざす

【北名古屋】米穀精米卸のハナノキ（本社北名古屋市井瀬木井の元三六、山内正道社長、電話0568・22・3711）は、無洗米のインターネット販売が好調に推移している。大手通販モールの無洗米部門で、人気商品の「平成十八年産無洗米・山形県産あきたこまち」が、これまでに十九週にわたり販売一位を獲得（三月二十一日現在）し、そのほかの自社商品数点も常時上位ランキング入りしている。今月は月商三百万円に届く勢いで、「高品質と顧客サービス充実などが評価されており、需要は今後も伸びる」（池山健次会長）として、年内には同五百万円を目指す。

ネット販売は、同社ホームページ（http://www.hananoki.co.jp/）内の、白米、農地特選米、玄米なども取り扱うネットショップ「ハーベストシーズン」で昨年六月から開始している。現在、無洗米は十三点を販売している。

人気の「あきたこまち」は、精米業者、販売店など百九十一店が無洗米約五百五十点を出品する大手通販モールにおいて、昨年十月二十五日から二十一週連続でベストテン入りしており、うち十九週にわたり一位を獲得した。

また三月二十一日現在で、「無洗米あきたこまちブレンド」「同岩手県産ひとめぼれ」「同富山県産コシヒカリ」が十位内に入っている。

同社では、業界に先駆けた最新設備を導入する「瑞浪工場」（岐阜県瑞浪市）が、昨年七月に完成した。完全水洗い方式により、うま味が高く、米表面の生菌数を大幅に抑えた無洗米を製造している。

同社では「明確な価格設定に加えて、顧客の注文から翌日に発送する体制、正確なこん包、クレーム対応など細やかな面に配慮している」（池山真一郎常務）ことを、受注拡大の要因にあげている。

同社では、消費者からの高い支持を背景に「当社の無洗米の利便性、おいしさが認識されてきている」（池山会長）と判断し、無洗米ネット市場の開拓を強化する方針。数年後には月商一千万円も視野に入れている。

人気商品の「無洗米山形県産あきたこまち」